



定植用苗 ラベンダーの育て方

〈はじめに〉

ラベンダーを育てるコツは次の2つです

1つ目は原産地の気候と自分が育てている場所の気候の違いを意識して育てることです。ラベンダーは元々地中海沿岸の乾燥した地域の植物なので、温暖で湿潤な日本で育てる場合は原産地の気候条件に近づける様々な工夫が必要となります。

2つ目は「ラベンダーも生き物であることを忘れない」ということです。

植物は声を発しません。何か強いストレスを受けたときに動物のように「ギャー」「ウー」とでも言ってくれると良いのですが、もちろんそのようなことはできないので、育てている人間が植物の様子をよく観察して、声なき声に耳を傾けるしかありません。同じ場所で同じように育てても、1株1株育ち方が違います。日々の生長の様子をよく観察して、日ごろの管理方法を柔軟に見直すことが大切です。

定植用苗について

ファーム富田のラベンダー苗は挿し木で殖やしています。毎年4月下旬から5月上旬にかけて、元気な親株から一つ一つ丁寧に挿し穂を選び、特別に用土を調整した苗床に挿して育てます。ファーム富田で春～秋の間に生長した苗は、雪の下で休眠します。

ラベンダーの移植にもっとも良い時期は、休眠から覚める直前、季節でいうと雪が解けてから桜の咲いている間頃までと言われています。ファーム富田の定植用苗は休眠中の最も移植に適した時期にお送りするので、お届けした苗の葉が白っぽいのは休眠中の証拠です。定植用苗は、休眠中の苗をたくさんの数でまとめてお送りできるので、同じ本数の鉢苗を買うよりも安くたくさんの苗をお送りできます。ラベンダーを植えるのが初めてという方やこれから広い場所にたくさん植えたいという方におススメです。

定植用苗1. 植える場所の用意（鉢植えの場合）

1年生苗は4号鉢・2年生苗は8号鉢くらいのサイズを選びましょう。鉢のサイズは根の生長や管理のしやすさに関わりますので重要なポイントです。用土や水やりの仕方など、鉢苗の管理方法については鉢苗ラベンダーの育て方を参照してください。

定植用苗2. 植える場所の用意（地植えの場合）

ラベンダーを植える場所を選ぶときに特に大切なことは次の2つです。

①日当たりが良いこと

ラベンダーは日向で育つ植物なので、半日以上日陰になってしまふような場所では弱るか枯れてしまいます。少しでも日当たりの良い場所に植えましょう。



水はけを改善する方法例

②水はけが良いこと

元々地中海の乾燥した気候で生息する植物なので、水はけが悪い場所で育てることは命取りとなります。ご自宅の花壇や畑がもし水はけの悪い場所であれば、何らかの方法で改善をする必要があります。

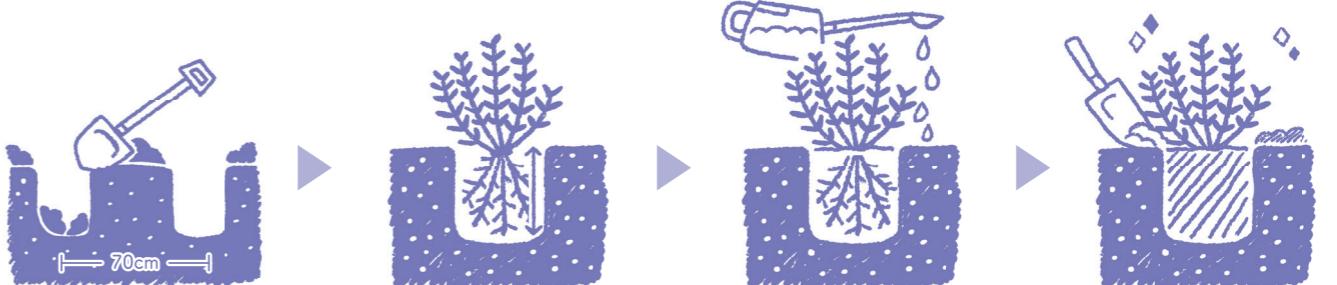


用土に火山礫などを配合する
※土のPHは6.5が目安

定植用苗3. 定植の仕方

苗がお手元に届きましたら、すぐに箱を開封してください。

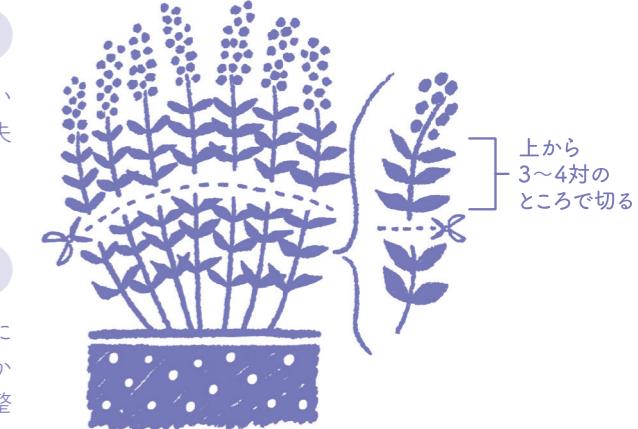
お送りした時点の苗は休眠中ではありますが、常緑樹であるラベンダーは休眠中でも一定の呼吸を行っていますし、光合成も必要としています。少しでも早く日当たりの良いところに定植して土に根付かせてあげることが必要です。



※根が外に出ないように注意

定植用苗4. 水管理

定植後1週間くらいは、乾きすぎると水やりしてください。根付いた後のラベンダーは基本的に水やりの必要はありません。雨任せで大丈夫です。



上から
3~4対の
ところで切る

定植用苗5. 剪定

開花後の花はそのままにしておくと種をつけてしまいます。種をつける前に剪定することで、翌年健康でより大きな株に育てることができます。上の葉から数えて3～4対の部分で切り落としてください。株の形が丸くなるように整えると良いです。

※8～9月に雨が多く湿度が高い地域では葉が蒸れることを防ぐため、内側の枝を数本すべて風通しを良くしてあげることが有効です。

※株の生育に大切な剪定作業ですが、時期が遅くなると弱らせてしまうことになるので注意が必要です。ファーム富田では8月20日頃までにすべての品種を終えるようにしています。

定植用苗6. 肥料

多肥を嫌うラベンダーですが、花を咲かせる際に土から栄養分を吸収するので、花が咲いた後は追肥を行います。肥料はやりすぎに注意です。追肥はあくまでもラベンダーの表情を見てラベンダーが必要とする分だけ与えます。ファーム富田では秋の追肥に鶏糞を採用しています。

定植用苗7. 冬越し

積雪する地域の場合、雪の中は外気よりも比較的暖かく保たれるので雪の中に埋まることで越冬できます。積雪しない地域の場合で氷点下3℃程度の地域では、条件が合えば地植えのままで越冬できます。

※積雪せず-10℃以下の極低温になる地域（北海道内では例えば道東方面など）では、地植えでの越冬はできないので、鉢植えで育てるのが良いです。

定植用苗8. 翌春を迎えた

春になり1日の最高気温が15℃を超える日が続く時期になってくるとラベンダーも休眠から覚めて動き出します。ラベンダーの葉や茎が伸び始めたころに、少量の追肥を行います。ラベンダーにとって居心地の良い環境ができていれば、夏にはまたきれいな花を咲かせてくれるでしょう。